

令和4年度 第11回教育委員会定例会

日時、場所及び出席者

日時及び場所	出席者	
令和5年2月9日(木)	教育長 坂元 裕人	教育総務課長 野村 宏治
午後 2時00分 ↓	教育委員 田原 正人	学校教育課長 今井 誠
午後 4時37分	教育委員 葛迫 幸平	社会教育課長 港 耕作
第2研修室	教育委員 田之上 厚美	国体推進課長 米田 昭嗣
	教育委員 福里 由加	

会議要旨

- 1 開 会
定刻、定足数に達しており、令和4年度第11回教育委員会定例会を開会した。
- 2 令和4年度第10回定例会会議録の承認について承認
- 3 議 事
報告第1号 令和4年度垂水市一般会計補正予算（第9号）案についての市長への意見申出について
議題第2号 令和5年度垂水市一般会計当初予算案に関する市長への意見申出について
議題第3号 垂水市立学校管理規則の一部改正について
議題第4号 鹿児島島津家墓所（垂水島津家墓所）災害復旧検討委員会設置要綱の制定について
- 4 その他
3月5日（日）臨時の教育委員会を開催する旨を通知した。（教育総務課長）
- 5 委員並びに教育長及び課長報告
- 6 閉 会

議 決 事 項

件 名	提案理由	審議の状況	採決の次第
<p>報告第1号 令和4年度垂水市一般会計補正予算（第9号）案についての市長への意見申出について</p>	<p>令和4年度垂水市一般会計補正予算（第9号）案の作成について、教育長の臨時代理により、差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>議案第2号 令和5年度垂水市一般会計当初予算案に関する市長への意見申出について</p>	<p>令和5年度垂水市一般会計当初予算案に関して市長へ意見を申し出ることにについて、教育委員会に議決を求めるものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承認</p>
<p>議案第3号 垂水市立学校管理規則の一部改正について</p>	<p>消防法に定める、小中学校における防火責任者を校長だけでなく、防火管理者として、教頭又は学校職員に対してその任に充てることのできるように、学校管理規則の一部を改正するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承認</p>
<p>議案第4号 鹿児島島津家墓所（垂水島津家墓所）災害復旧検討委員会設置要綱の制定について</p>	<p>鹿児島島津家墓所（垂水島津家墓所）の復旧には、復旧事業に関する専門家の意見を参考にして、事業を進めていくことから、災害復旧検討委員会を設置しようとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承認</p>

議 事 内 容 等

3 議 事	
	<p>報告第1号 令和4年度垂水市一般会計補正予算（第9号）案についての市長への意見申出について</p>
教育総務課長	令和4年度垂水市一般会計補正予算（第9号）案の作成について、教育長の臨時代理により、差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告。
田之上委員	事務局費のスクールバス運行委託料の減額は、スクールバスの台数が一台減ったということか。
教育総務課長	そのとおりである。
葛迫委員	文化財保護費の金額（減額補正）が大きいと思うが内容は。
社会教育課長	国指定の島津家墓所が令和2年に被災して、その工事請負費というのが、山の上から土砂がきて、擁壁工事を行う計画だったのであるが、令和4年度はその工事ができないということで減額（補正）したものである。
葛迫委員	次年度になるということか。
社会教育課長	これはまだ文化庁・国・県と協議を進めていますので、現段階ではいつするか決まっておられません。
	<p>議案第2号 令和5年度垂水市一般会計当初予算案に関する市長への意見申出について （非公開） （議案第2号 承認）</p>
	<p>議案第3号 垂水市立学校管理規則の一部改正について</p>
教育総務課長	垂水市立学校管理規則の一部改正について、その内容を説明。
田原委員	防火管理者になると、年に1，2回研修があると思うが、今までは校長が研修に参加していたが、これからは教頭とかも参加するということか。
教育総務課長	そういうこともあり得る。誰か1人でも資格を持っていればいいことになる。新任の校長の場合、研修を受けて資格を得るまでは、これまでであれば空白の時間が予想された。それを防ぐため、教頭もしくはその他の職員まで幅を広げることで解消できることになる。
田原委員	防災計画なども、管理者が定めることになっているが。

教育総務課長	防火管理者が定めることになっているので、今後は教頭が計画を定めることもあり得る。
	<p style="text-align: center;">議案第4号 鹿児島島津家墓所（垂水島津家墓所）災害復旧検討委員会設置要綱の制定について</p>
社会教育課長	鹿児島島津家墓所（垂水島津家墓所）災害復旧検討委員会設置要綱の制定について、その内容を説明。
田原委員	非常に価値のある文化財なので、こういう会議を持って、専門家の意見を聞いて進めるというのは大変いいことだと思う。できれば、早めに会合を持って、その工事が早く進捗すればいいなと思う。
社会教育課長	本日、ご承認いただいた場合は、3月中には開催したい。
葛迫委員	専門家というのは、どういう分類に入るか。
社会教育課長	1人は墓跡の専門家、復旧作業も兼ねているので土木関係、歴史に詳しいのは当然で、あと地質学に詳しい人がいい。
葛迫委員	島津家あたりの歴史に詳しい先生が入ってくるのか。
社会教育課長	あくまで災害復旧検討委員会なので、災害前の現状に戻すことが目的である。確かに歴史に詳しい人に超したことはないが、元にもどすには、どういう形がいいのか、どういう復旧作業がいいのか、できるだけ被害が及ばないためにはどうすればいいとか、そのへんが知りたいのである。
教育長	委員の任期を令和6年3月31日までとしているが本当にいいのか。再任でもいいと思うが。
社会教育課長	その時に、また検討します。
4 その他 教育総務課長	3月5日（日）午前10時から臨時の教育委員会を開く旨を説明し、開催通知を配る。内容は人事関係である旨を説明。
5 委員並びに教育長及び課長報告	委員並びに教育長及び課長報告に入る。

田原委員

今、非常に問題になっていて気になる事件がありますので、挙げてみたいと思います。

「オレオレ詐欺」が出現したのはいつごろだったでしょうか？最初は、暴力団が関係していたように思う。それが今は国外まで出てアジトを作り、そこから日本に指示を出して、交流サイト上の闇バイトで集められた実行役が資産家や商店に忍び込み、家人を縛り、暴力を振るって、金品を奪う強盗まで発展して、遂に殺人まで起こっております。犯罪も詐欺から強盗へとエスカレートし、奪った金額も今回だけで、60億円とか言っている。

何故、こんな事件が起こるのか、ちょっと考えてみた。犯人たちはどんな育ち方をしたのか、事件の背景にあるものが非常に気になる。SNSで知らない者同士が簡単に繋がる世界。それから金のためなら、犯罪でもバイトとして割り切ってしまう世界。それから自分は頼まれてやっていることだからということで、罪の重さをあまり感じない世界。お年寄りや金持ちから金品を奪うのは、社会に余ってる金だから取っても問題ないのではないかなど勝手な解釈をしているのか等々、いろんな疑問が湧いてくる。

フィリピンから強制送還された4人は全て北海道出身であった。道東の酪農地帯の出身者もいました。現在、ウクライナ戦争のために飼料が高騰し、たくさんの畜産農家が倒産している。そしてひどいのは、乳牛は、乳を出すためには、子供を産まないといけないのですが、乳牛が乳を出すために、産んだその子牛が、今1000円でも売れないという状況がNHKのテレビで放映されていた。昔は北海道の酪農というのは、やっぱり全国の若者が憧れる職業だったはずである。夢を抱いて札幌に出てきたはずが、歓楽街ススキノの闇世界に染まって人生を踏み外してしまったのだろうか。

これから解明が進むと思われるが、少しでもお金が残っていたら、なけなしのお金を孫や息子たちのために、役立てようと騙されて提供したお年寄りたちに少しでも返して欲しいと思う。

今回の事件というのは、徹底して弱いものをいじめるというか、これはもう小・中学校のいじめの延長線上にあるような気がしてならない。更に悪質なのは、自分では手を染めないで、現代の武器、デジタル機器を駆使して子分にやらせる暴力団的手法も我慢ならない。こんな犯罪がはびこらないように、徹底して調査をして解決して欲しいという思いがあります。

葛迫委員

第8回和田英作・和田香苗記念絵画コンクールが、1月29日（日）から2月3日（金）まで開催されましたので、そのことを報告いたします。

まず1月15日（日）に作品の搬入作業が行われ、一般部門からは、茨城県や滋賀県、京都府など、県内外から78点、ジュニア部門からは、垂水市内の保育園・幼稚園・小学校・中学校の子供たちの作品271点が寄せられました。

19日（木）には、私と元垂水高校で教鞭をとられていた二人の先生方を含め、三人で審査に当たったところです。午前中は一般部門の入選と選外、そして賞の候補50点程を決め、午後からは、一般部門の和田英作賞から、招待者作家賞・奨励賞までの25点を選定、そしてジュニア部門の和田香苗賞、他受賞作品30点を決定したところです。

一般部門最高賞の和田英作賞には、垂水市の野村妙子さん「少女」。ジュ

ニア部門最高賞の和田香苗賞には、慈恩保育園の串田さん「お外遊び大好き」、松ヶ崎小学校の脇さん「でっかいくま手でたがやしたよ」、垂水小学校の岩元さん「タイムカプセル」、垂水小学校の山下さん「歴史を語り継ぐ神社」、垂水中央中学校の前田さん「夕暮れの空」が選ばれました。

展示会場については、前回まで垂水市の市民館を活用していましたが、今回は、垂水市の文化会館で開催しました。コロナ対策を十分に考慮しながら、一般部門だけの会場式と表彰式ができたことは、大変うれしく思っております。また、ギャラリートークについては、コロナ感染拡大の影響で、今現在は中止されていますが、昨年から開催していた絵画表現講座、そしてアートレッスンも今年は中止しようということになりました。いつもみんな楽しみにしていることですので、そこで考えたのが、「課題提出による作品添削」です。コンクール会期中に製作した課題を提出し、搬出日に展示作品と課題と課題添削を返却したところです。

参加者は鹿屋市3人、鹿児島市1人、大崎町1人、垂水市2人の合計7人で、ちょっと少ないなと思ってたんですけども、回答者からは喜びの声が多く、来年も続けて欲しいですと、来年度以降もちょっとう、形を変えながらできていけばいいなと考えております。垂水市独特のやり方で、ギャラリートークだけではなくてやっぱりなんかこう、みんなが学べるということができたらなと思って、来年もやっていこうかなと考えております。

例年、会期は8日間だったのですが、今年はどうしても、日程の時期の調整が決まらずに、出品者に対して非常に迷惑をかけたなと考えているところです。そして出品者も、例年に比べると、かなり少なく、一般部門では、百人を割る結果となってきました。来年以降、近隣市町村との美術展の時期を考えながら、もう一度コンクールの日程を考慮する必要があるかなと思っております。そして、再来年は第10回目の記念展を迎えるんですけども、このことをやっぱり成功させようかなと。そうするとやっぱり日程の考慮が必要かなと考えておりますので、このことを大事に考えて、これからやっていければなと思っております。

田之上委員

2月6日に、垂水中央中学校の学校運営協議会に出席しました。校長先生から3学期の学校経営や生徒・保護者によるアンケート結果についての説明がありました。その後、意見交換会がありましたが、その中で、家庭学習時間については、1時間程度の子供たちが非常に多いということでした。このことに関して、同じ会議に出席されていた小・中・高の校長先生方の誰もが懸念されるおられるとのことでした。

小学校からは、今後も家庭学習をしっかり行い、しっかりとした基礎学力を付けて中学校へ上げたいとの話がありました。高校では、近年読解力を必要とする問題がすごく多くなってきているので、その力を付けておく必要があるということで、新聞を読んだり、読書したり、親子での会話とかも有効ではないかなということでした。

また、生活面では朝食はしっかり摂っているものの、睡眠時間が短い生徒が多く、委員の中からも、学校側からも、せめて6、7時間は成長期なので取って欲しいという話が出ました。

学校に対する評価は、生徒からも保護者からも高く、親子の関係も比較的良好なところが多いようでした。ただ、学校も懸念されていましたが、アンケートの回収率があまりよくなくて、答えてくださったところは、比較的学校に対しても協力的なご家庭なのかなというのを感じることでした。

最後に、生徒会活動がすごく充実してきている様子をお伺いして、改めて中央中学校の頼もしさを感じることでした。公立高校入試まで1か月を切りましたが、体調に気を付けて万全な状態で臨んで欲しいなと思っているところです。

福里委員

2月4日（土）に肝付町文化センターで行われた鹿児島県PTA活動研究委嘱公開肝付大会に小学校の研修部として参加しました。今回は肝付町立宮富小学校と高山中学校の実践発表でした。二校ともコロナ禍で活動を制限されることもあったが、いろいろ工夫されてPTA活動を行われていました。

特に印象的だったのは、宮富小学校には、四つの側面から子供たちを支える取組というのがあって、その中の一つ、学習の側面から「宮っこの学びを支える」PTA活動の取組が印象に残りました。直接的に子供の学びを支える取組も必要であるとのことで、PTAのリサイクル活動の益金を子供たち全員分の漢字検定料に充てているそうです。漢字検定を実施したことで、子供たちの漢字学習意欲が高まり、基礎的・基本的な学力である漢字力が身に付いてきたそうです。費用の面で問題があったのを、肝付町は、教育委員会が掛かった費用の半額を補助しているそうです。主に行っているリサイクル活動は、簡単な段ボール・ペットボトル・アルミ缶・スチール缶の回収であり、PTA会員だけではなかなか厳しいので、地域や色々な会社にも協力してもらっているそうです。

漢字検定の合格率は、ここ3年ぐらいいは、よくなっているみたいです。令和3年度は、1年生から4年生までが100%、5、6年生が83.3%、全体で94.9%の合格率だったそうです。私も認識不足で息子が中学生になるまで、漢字検定のことをよく知らなかったのですが、漢字を苦手にしてる子も多いので、いい経験になるのではないかと感じました。

息子たちの国語のテストは、必ず漢字が10問出て、2点×10点の20点の配点です。「あなた、この20点大きいよ。」っていつも言うのですが、やっぱり苦手意識があったりして、1回目は、試験の前日に私がテストをしたのですが、全然書けなくて、涙を流していました。それが身に染みたのか漢字の勉強もするようになりました。教えてくださる国語の先生から、「漢字を馬鹿にしてはいけません。」と言われて、それから少し漢字を勉強するようになったみたいです。

息子の友達に、「漢字検定を受けないの？」と聞くと、「僕は漢字が苦手だから。」と言う子が結構います。だから小学校のうちから漢字に親しんでおけばいいと思います。試験は年に2回ありますが、息子も1回目（6年生の時の五級かな。）五級が落ちたんですよ。実際、あと2点足りなくて落ちてしまい、6年生のでは、さすがにちょっと厳しいかもねと言っていたけど、何とか2回目を受けたら合格してくれました。だから、そういう漢

字力ってすごく差が出るのかなっていうふうに思っているので、小学校のうちから漢字を勉強する習慣が身に付いていけばいいのかなというふうに感じました。

垂水市は、中学生には英検の補助を行ってくださっていますので、小学生には漢字検定の補助があってもいいのになって思います。ですけど、その宮富小学校の場合は、市だけに頼るのではなくて、保護者の方のそういうPTAのリサイクル活動などをされているのですごくいいなというふうに感じました。宮富小学校は児童数が41人（P戸数31戸）ということだったので、規模的には取り組みやすいのかなと思いましたが、垂水市でもそういう取組があるといいなと思いました。

その後の講演で、「ゲームやスマホにはまる子供たちにどう関わるか」という演題で、志學館大学の先生から話がありました。新型コロナの影響でネット利用の時間がすごく急増していて、ゲームにはまる子も増えていて依存症の子も増えているということでした。

依存症の方は心の天秤が壊れて起こるということで、人間関係やいじめなどで傷ついた子は、はまりやすいとの話もありました。また、さっき話もありましたが、SNSの使い方等もしっかり子供に教えなければいけないという話もありました。

教育長

私からは、まず喜ばしいことを、お話しします。

実は鹿児島学習定着度調査が1月に実施されました。何と垂水市の小学校5年生、地区で総合1位でした。垂水市の小学校5年生がですよ。わずかですが、隣の鹿屋市を上回りました。何と言っても1位ですから。

次に中学校1年生です。健闘したんですが、9市町中7位でした。中学2年生は、何と地区で第3位。教育事務所からも、小学校の1位はもちろんのこと、すごく頑張られましたねということとあわせて中学校も健闘されましたねとお褒めの言葉がありました。

中学2年生は、決して過去、結果を出している学年でもないのですが、こうしてしっかりと結果を出してくれました。これはもう本当に感謝ですね。学校は、真剣に頑張ったのだろうし、どこかでGIGAも役に立っていると思いたいのです。いや、実はそうなんです。先ほどAIドリルの面白さをおっしゃいました。

そうなんです。私たちはGIGA効果と言うんですけど、AIドリルはやっぱり効果がある。これでもって、ドリル的なことも楽しく学ぶ子供もいますので、是非そういうところもうまく使い、授業を大事にしながらやっていかなければいけないなと思っております。

それでですね、この前、私はある研修会を見ていたら、こんな事を言っていました。ICTを使うことイコール(=)新たな授業ではない。

これは、ものすごく意味のある言葉で、新たな授業とは、学習者中心の授業である。つまり一人一人の子供は、授業としてどんな資質能力を付けるのか、また付けたのか。そういうことがきちっと付けられる授業が新たな授業であると。それに、GIGAをどう有効に使っていくかというところをやっていないと、GIGAスクール構想は、いずれ破綻するだろうと

いうことを言っていました。だから教師は、今、最初に言った言葉がキーワードです。「学習者中心の授業。」子供を真ん中に置いて授業を進めないと、GIGAスクールは空回りしますよということを暗に言ってるわけです。なので、我々ももう1回原点に帰って、これは当たり前のことですよ。授業は学習者中心に決まっているじゃないですか。それをもう1回思い出しながら、原点は何なのかということですね、学習者中心の授業なんだよというところで、GIGAスクールを考えていかなきゃいけないなということ、思っております。

最後に、卒業式・入学式を迎えますけれども、今回から告辞が復活しますので、委員の皆様、この学校に行きたいという希望があれば早めに課長にお伝えください。教育委員の皆様方には、3月23日木曜日の小学校の卒業式。4小学校ですね、分担して行ってまいります。

入学式は、4月6日です。私はちなみに終原小学校に行きたいと考えています。何でかと言うと、校長先生が最後ですので、お送りしたいなと思って。卒業式の出席は3年ぶりですね。まずは卒業する子供たちの門出を祝ってあげたいと思います。

教育総務課長
学校教育課長
社会教育課長
国体推進課長

1月11日から2月9日までの主な行事等について各課長が報告。
併せて、2月10日から3月10日までの行事予定についてお知らせした。

6 閉 会